

都市再生整備計画（第2回変更）

お お た し ちゅうしん し が い ち だい に き
太田市中心市街地(第二期)地区

ぐんま おおたし
群馬県 太田市

平成25年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	群馬県 群馬県	市町村名	おおたし 太田市	地区名	おおたしちゅうしんがいにだいにきちく 太田市中心市街地(第二期)地区	面積	255 ha
計画期間	平成23年度～平成27年度	交付期間	平成23年度～平成27年度				

目標

- 大目標：太田駅周辺の賑わい再生と文化交流によるまちづくり
- 目標1：文化施設として多目的ホール新設することにより、芸術発表を通し住民の交流をはかる
- 目標2：太田駅周辺の利便性と安全性の向上により人口定着をはかる
- 目標3：太田駅周辺土地区画整理及び歩道整備により、都市基盤の整備水準の向上をはかる

目標設定の根拠

- まちづくりの経緯及び現況
- 【まちづくりの経緯】
- ・太田市は、平成17年3月28日に太田市、尾島町、新田町、藪塚本町が合併し、人口21万人を超え誕生しました。利根川と渡良瀬川の水の恵みと、金山丘陵の豊かな緑を有し、古来より歴史と文化にはぐくまれてきました。
 - ・行政運営を総合的かつ計画的にすすめるため、「太田市まちづくり基本条例」を基本に「新生太田総合計画」を平成19年4月に策定し、市民参画と協働のまちづくりを進めています。太田市総合計画は、基本構想を平成19年度から平成28年度としまちづくりの基本理念などの方針を定め、前期行動計画・後期行動計画を5年間ずつ分け、実施事業や施策指標、事業工程などを定めています。
 - ・新生太田総合計画を基に、「太田市都市計画マスタープラン」を平成20年4月に策定し、地域ごとの将来像、道路・公園等の公共施設の計画、地域ごとの課題と整備方針を定め、まちづくりを進めています。
 - ・太田市は、良好な景観を形成するまちづくりの推進を目指し、平成19年9月1日に景観行政団体になり、平成22年4月に、「自然、まち、歴史・文化の調和した、愛着のもてる景観」を目標に、地域の特性や魅力ある景観資源をいかした景観づくりに向けて「景観計画」を策定しました。
- 【現況】
- ・群馬県主体の太田駅付近連続立体交差事業により、鉄道により分断されていた南北の交通は、踏切の撤去により、利便性が向上いたしました。また平成18年度から22年度で実施しました、都市再生整備計画(太田市中心市街地地区430ha)により、太田駅高架下や北口駅前広場整備、テクノプラザおおた整備、御城道改良工事、金山遊歩道整備など、街の再生や自然との触れ合える賑わいのある街づくりを実施してきました。
 - ・当地区は、東武鉄道太田駅を中心として商店街を形成してきた地域であります。現在は、高齢化による後継者不足や郊外進出のショッピングセンターにより店舗の閉鎖で、空き店舗が増加している状況です。
 - ・地区内に市営住宅団地が2棟、優良建築物等整備事業による市営住宅団地が1棟建ったことにより、地区内人口は増加傾向となり賑わいの創出に貢献しました。

課題

太田市中心市街地地区(430ha)における都市再生整備計画(平成18～22年度)を実施し、品質の高いまちづくりに向け整備しました。しかし当地区は高齢化の影響もあり、人口の減少や商店が衰退しています。都市基盤整備(太田駅周辺土地区画整理事業)の完了が平成32年度までと長期間のため、全域の早期整備完了し、住みやすい街なみ、歩行者が安全に通行できる道路網の整備が必要です。

太田市の玄関口である太田駅を中心とし賑わい拠点整備を図るため、各地区協議会で事業検討会議やまちづくり会議を開催し、住民のまちづくりに関する意識を高め、また民間活力導入の検討も必要と考えられます。太田駅から自然豊かな金山山頂までの観光地を活用し、市県外からのハイカーが何度来ても満足するまちづくりを検討し、どのように呼び込み、誘導するか、施策の再検討が必要となっています。そのため道標の再整備の必要性があります。

また、以前は太田駅に近隣に市民ホールとして活用していた市民会館がありましたが、平成20年度に老朽化のため解体したことにより、芸術文化が発表でき、住民が交流する施設がなくなってしまいました。旧新田町にある既存の市民ホールの稼働率は高く、早期に市民から文化交流施設建設の必要性が求められています。

将来ビジョン(中長期)

「都市計画マスタープラン」の、将来の都市構造では、太田駅周辺を中心拠点と位置付けています。商業業務機能をはじめ、教育文化、娯楽などさまざまな都心機能の集積と居住機能の確保によって、活発でさまざまな都市活動を生み、市民生活拠点及び広域的拠点となる地区としています。その中で、太田駅周辺地区は、中心とした中心市街地の活性化、防災に配慮した密集市街地の再整備を進めます。具体的には、太田駅周辺土地区画整理事業を進め、健全な市街地の形成、民間主導による再開発事業の誘導を行います。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
文化施設の利用者数	人/年	1年間に多目的ホールを利用者する人数(新田エアリス及び新市民会館)	市民の芸術文化発表により住民の交流を生み出し、文化の香るまちづくりを図る	72,415	H22	170,000	H27
地区内居住者数	人	区域内エリアの町別人口の合計	太田駅周辺地区の都市基盤整備することにより魅力のあるまちづくりを図り、賑わいを創出する	16,220	H22	16,220	H27
道路整備率	%	太田駅周辺土地区画整理事業浜町地内の道路整備状況	区画道路建設により、生活用道路が整備され、住民の生活の向上を図る	46.5%	H22	76.0%	H27

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
・整備方針(芸術文化施設の整備) 市民の芸術文化を発表する機会が増加することにより、太田市住民の交流を創出し、文化の意識の向上に繋がることができます。多目的ホールにより多様なイベントに対処でき、沢山の利用者を見込めことにより、住民の交流を創出できるまちづくりを目指します。		(仮称)新太田市民会館整備事業(基幹事業/高次都市施設)
・整備方針(魅力あるまちづくり整備) 太田市の交通拠点の中心地である太田駅周辺道路を、交通弱者が安心して通行できるための歩道を整備し、駅前に相応しい景観形成を図ることにより、品質の高いまちづくりを目指します。また、防犯カメラを設置することにより、市民が安心して交通できるようなまちづくりを目指します。また市民の健康づくりに役立ち、利便性のよい施設整備することにより魅力のあるまちづくりをを目指します。		東本町飯田線歩道整備事業(基幹事業/高質空間形成施設) 太田駅周辺土地区画整理事業(基幹事業/土地区画整理事業) 防犯カメラ設置事業(提案事業/地域創造支援事業) (仮称)新太田市保健センター整備事業(提案事業/地域創造支援事業) 市道太田九合176号線道路整備(基幹事業/道路) 浜町ポケットパーク整備事業(基幹事業/高質空間形成施設) 太田駅南口駅前広場整備事業(基幹事業/高質空間形成施設)
・整備方針(住み易いまちづくりのためのライフラインの整備) 既成市街地である太田駅周辺土地区画整理事業地内は、密集市街地となっています。区画整理事業により、建物等の移転、区画道路の整備(改良・新設)、下水道整備を行うことにより、災害に強く、利便性の高いまちへと、住環境整備を進めます。		太田駅周辺土地区画整理事業(基幹事業/土地区画整理事業) 区画整理事業(市単独事業部分)(提案事業/地域創造支援事業)
その他		
○事業終了後の住民等の参加 公園整備後、地元愛護会で、活用や清掃への住民参加によるまちづくり活動を実践していきます。		
○事業終了後のまちづくりの誘導 優先的に土地区画整理事業を行う浜町地区は、整備後もまちづくり活動の各団体の意向に沿い、賑わいのある、安全なまちづくりに向け、引き続き誘導を行うものとする。		

交付対象事業費	3,533	交付限度額	1,413	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

合計(A+B)	3,533
---------	-------

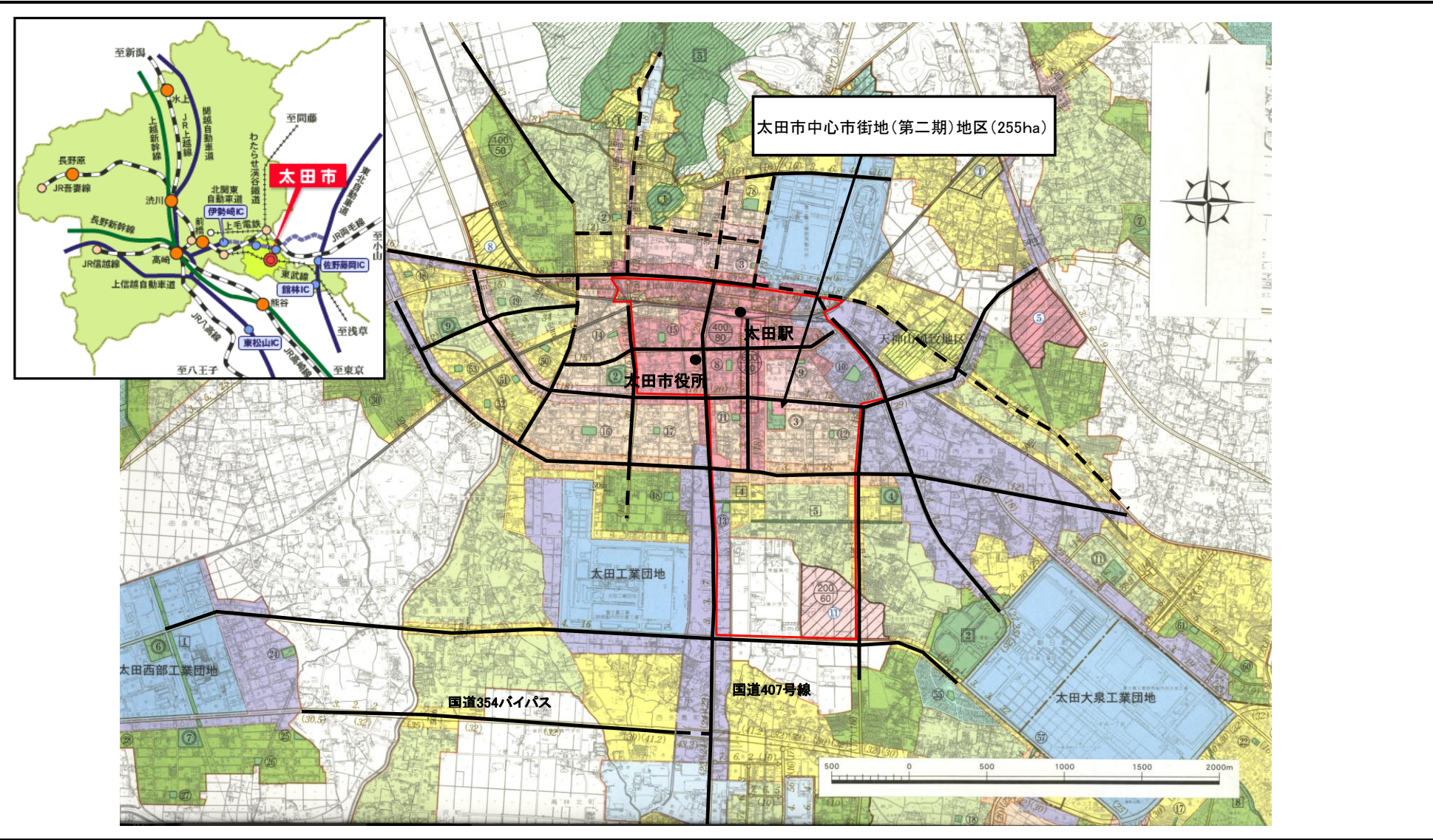
...A

合計(A+B)	3,533
---------	-------

[illegible]

都市再生整備計画の区域

太田市中心市街地(第二期)地区(群馬県太田市)	面積	255 ha	区域	太田市東本町、本町、浜町、飯塚町、飯田町、新島町、小舞木町の各一部
-------------------------	----	--------	----	-----------------------------------



太田市中心市街地(第二期)地区(群馬県太田市) 整備方針概要図

目標	太田駅周辺の賑わい再生と文化交流によるまちづくり	代表的な指標	文化施設の利用者数 (人/年)	72,415	(H22年度) →	170,000	(H27年度)
			地区内居住者数 (人)	16,220	(H22年度) →	16,220	(H27年度)
			道路整備率 (%)	46.5%	(H22年度) →	76.0%	(H27年度)

